

2021年2月24日

関係各位

野村ホールディングス株式会社  
コード番号8604  
東証・名証第一部

## 環境省「ESGファイナンス・アワード」の受賞について

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)の子会社である野村証券株式会社(代表取締役社長:森田敏夫、以下「野村証券」)と野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:中川順子、以下「野村アセットマネジメント」)は環境省「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」(以下「本アワード」)の銀賞(環境大臣賞)を受賞しました。



本アワードは、ESG金融やグリーンプロジェクトに関して積極的に取り組み、環境・社会に優れたインパクトを与えた投資家・金融機関等、また環境関連の重要な機会やリスクを企業価値向上に向け経営戦略に取り込み、企業価値と環境へインパクトを生み出している企業の取り組みを評価・表彰し、社会で共有することを目的として、2019年に環境省が創設したものです。

本アワードでは、投資家部門、間接金融部門、資金調達者部門、金融サービス部門、環境サステナブル企業部門の5部門で表彰が行われ、今回、野村証券が金融サービス部門(証券部門)、野村アセットマネジメントが投資家部門(アセットマネージャー部門)において、それぞれ銀賞(環境大臣賞)を受賞しました。

野村グループは、「社会課題の解決を通じて持続的な成長を実現する」という経営ビジョンのもと「Drive Sustainability.」というコンセプトを制定し、野村証券ではグリーンボンドをはじめ、気候変動に関する資金調達や金融ソリューションへのお客様ニーズに対応し、野村アセットマネジメントではサステナブル投資を推進しています。今回の受賞は、両社がそれぞれの専門性をもって横断的に連携し、サステナブルファイナンスの発展に向けて、さまざまなアセットクラスでESG市場の拡大に貢献してきた取り組みが高く評価されたものと考えています。



野村グループは今後も、持続可能な社会の創造に資する金融サービスの提供を通じて経済成長や豊かな社会の創造に貢献していきます。

以上